

（魅力動画）

（行事案内）

（入会申込フォーム）

（Facebook）

同友会って  
どういう会？

# おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2025年（令和7年）  
1月号  
**No. 442**  
発行：沖縄県中小企業家同友会  
編集：広 報 委 員 会  
〒901-0152  
沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号  
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208  
http://www.okinawa.doyu.jp  
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



〈写真提供：沖縄タイムス〉

89年振り復活の「西王母」

那覇大綱曳

90年振り復活の「四君子」

新年明けましておめでとうございます。昨年度も同友会活動にご理解ご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。昨年度は沖縄同友会代表を仰せつかり、一年間様々な学びや気づきがあり、改めて同友会理念の素晴らしさを実感する一年で御座いました。与



えられた環境に、支えてくれる家族や会社社員、同友会の仲間達には感謝が尽きません。さて、昨年度から中同協の広浜会長から何度も発言されている「同友会の新たなステージ」について、沖縄同友会も今年度新しい展開として、一般社団法人化や新支部の設立などについて、近年にない動きが御座います。第7次ビジョンも残り二年、第8次ビジョンに向けての動きも必要となる時期になってきました。同友会理念三つの

目的でもある「よい経営環境づくり」、「国民と地域と共に歩む」等、沖縄経済に貢献するべく理念の実現に向け、新たなステージの展開を現実化して、会員メンバー連帯の精神での活動が求められます。同友会の基本である例会での学を実践強化し、同友会理念を広めるためにも仲間づくり活動が重要となってきました。新年の挨拶ではございますが、仲間づくりは365日皆様のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 沖縄経済に貢献すべく新たなステージの展開を！

代表理事 座間味 亮

あけましておめでとうございます。今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。乙は「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また、巳は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳の年は、「再生や変

化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。昨年からは今年にかけて、台湾、日本、米国、シリア等で国のリーダーが変わりました。また、今年には終戦から八十年という節目の年であり、緊迫した世界情勢が続く中、先の大戦の反省を踏まえて、どのようにして平和的な発展を遂げていくかが問われています。沖縄同友会においては、4月に「一般社団法人」への法人化を予定しております。また、5月には約三十年ぶりとなる、沖縄本島東海岸での新支部設立も計画してい

ます。私達中小企業家には、いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任があります。また、変化を恐れるのではなく、むしろ自ら変化を起こして、理想の社会を実現していくことが求められています。会員の皆様におかれましては、社内外の経営資源をフル活用して、よい会社・よい経営者・よい経営環境づくりに邁進されることを願っております。本年もよろしくお願いいたします。



化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。昨年からは今年にかけて、台湾、日本、米国、シリア等で国のリーダーが変わりました。また、今年には終戦から八十年という節目の年であり、緊迫した世界情勢が続く中、先の大戦の反省を踏まえて、どのようにして平和的な発展を遂げていくかが問われています。沖縄同友会においては、4月に「一般社団法人」への法人化を予定しております。また、5月には約三十年ぶりとなる、沖縄本島東海岸での新支部設立も計画してい

ます。私達中小企業家には、いかに環境がきびしくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任があります。また、変化を恐れるのではなく、むしろ自ら変化を起こして、理想の社会を実現していくことが求められています。会員の皆様におかれましては、社内外の経営資源をフル活用して、よい会社・よい経営者・よい経営環境づくりに邁進されることを願っております。本年もよろしくお願いいたします。

## 自ら変化を起こし理想の社会を実現！

代表理事 宮城 光秀

## 茶論

年新たな日々を  
し何にを遺すべ  
き／河野南畦▼  
日本原水爆被害  
者団体協議会に  
ノーベル平和賞  
が贈られた。「核兵器の  
ない世界の実現をめざし  
て尽力し、核兵器が二度  
と使われてはならないこ  
とを目撃証言を通じて身  
をもって示したことが評  
価された」▼2016年  
4月、日本被団協の提案  
で世界の原爆被害者が呼  
びかけた「核兵器の禁止・  
廃絶を求める国際署名」  
は大きく広がった。17年  
7月に122カ国の賛同  
を得て、「核兵器禁止条  
約」が制定された。小さ  
な波紋が核廃絶への流れ  
となり世界の潮流となっ  
た。▼しかし、ウクライ  
ナ侵攻を続けるロシアは  
核使用を示唆し、中国は  
核戦力を増強、北朝鮮は  
核開発を進めている。ヒ  
ロシマ・ナガサキへの原  
爆投下、そしてオキナワ  
での地上戦。戦争ほど  
残酷で悲惨なものはない  
」というのが、世界大  
戦が引き起こした惨禍を  
目の当たりにした人々の  
心情であり「20世紀の歴  
史の教訓」だったはずだ  
▼相手の身になって考え  
想像力を働かせない限  
り、それぞれの国の「正  
義」のぶつかり合いは続  
く。困難な時こそ、多様  
性を受入れ、自分と異な  
る意見を聞き、受け止め  
可能性を信じ抜くことの  
積み重ねが大事だろう。  
▼オリオンの盾新しき年  
に入る／橋本多佳子（作  
古）

＜出席者＞

- 沖縄労働局  
局長 柴田 栄二郎氏
- 名護市観光協会  
理事長 前田 裕子氏
- 沖縄同友会代表理事  
代表理事 座間味 亮氏

＜コーディネーター＞

- 沖縄中小企業家同友会  
広報委員長 江口 直美氏

2025年 新春鼎談

# 沖縄経済および地域経済の V字回復に向けて中小企業の課題と展望

**前田** OCVBの発表によると二〇二四年一



前田理事長

**江口** 明けましておめでとうございます。二〇二五年の「ニライみらい」新春鼎談は、「沖縄経済および地域経済のV字回復に向けて中小企業の課題と展望」をテーマに、三名の皆さまのそれぞれ立場から、ご意見を伺います。よろしくお願いたします。まずは自己紹介をお願いします。



江口広報委員長

## 沖縄経済の現状と課題は

**前田** 昨年の五月に前田産業ホテルズの社長を退任し、今は会長を務めています。前田産業ホテルズのグループは、五つのホテルと商業複合施設を運営しています。名護市観光協会の理事長は、もう四期目の八年目を超えました。

**座間味** (株)赤マルソウの代表の座間味です。首里から糸満に移転して三十年、西崎の工業団地で、調味料を作っています。今年度より同友会の代表を任せられ、所属は那覇支部の南地区になります。

**江口** 広報委員長の江口です。ソムノクエスト(株)の代表として、今期十九期に入りました。琉球王朝時代からの薬草クワンソウの商品を開発して、消費者や沖縄県に体に良い商品として認定いただいております。今日の進行役を務めます。

始めに、アフターコロナでのV字回復は、まだまだ回復途中の段階で捉えています。それぞれの立場から、沖縄経済の現状と今年の課題についてお聞かせください。

後、予定されクルーズ船も増えていくでしょう。国内線を取り継いで外国人客も増えていて、国籍も多様化し欧米人が増えているのも皆様実感されていると思います。

旅行マインドの高まりもあり、県内宿泊施設の平均単価も向上して、活気が出てきています。全国的には、材料費や燃油量などの高騰から単価をあげざるを得ないという事もあり、ホテルや飲食店が高くなったと言われていると思いますが、今までの価値が妥当だったか？と考えるきっかけになっていると思います。

今年もインフレは続き、提供側にとっても材料費などを価格に転嫁せざるをえない苦しい状況は続くと思います。しかし、人も材料も時間もかかっている自社の商品に中小企業も誇りをもって金額を付けて販売し、お客様がその価値に対して快くその金額を払い満足して滞在を過ごしていただく事、その環境づくりや商品づくりを愚直にもやり続ける事が自社の発展、ひいては、沖縄観光の永続的な発展につながっていると思います。

令和元年は平均で一・三倍以上上昇しましたが、コロナの影響により一倍を切ったという状況になり、コロナ収束に伴って昨年は一・一七倍まで戻っています。今後はジャングリアの開業や、大型ホテルの開業も予定されており、さらに人手不足が進んでいくと思います。そうした中で人材確保や離職防止への対応が重要となります。先島ではオーバートーリズムの問題など、違った面でも県民への影響が懸念されます。

**座間味** 中小企業の立場としては、人手不足が前面に出ています。業界でも違いますが、食品業界

ですと、特にコロナ明けから急激にインバウンドが増えたことで、お土産の生産が追い付かないぐらゐの受注がありまして。昨年からは少し落ち着きました。依然人手不足は深刻です。

**前田** 観光業界でも人手不足は課題です。コロナ禍で観光業界から去って行った人もいますが、沖縄の経済を支える観光業が収益力をあげ社員の労働条件もよくなる事で、IターンやUターン者が増えるのではないかと期待しています。

**江口** 人手不足の解決方法として、これから何に取り組みればよいのでしょうか。

の削減や有給休暇の取得促進などの取り組み、また育児や介護と仕事の両立支援についても重要ではないかと考えています。

**人手不足** の中でも、処遇改善の取り組みが進み、正社員の有効求人倍率はコロナ前の令和元年度平均の〇・六六倍から、令和六年の上半期で〇・七七倍と〇・一二ポイント上昇しました。処遇の改善を進めていかなければ人も集まらないのが現状ではないでしょうか。

**座間味** 製造業はマンパワーが必要ですが、機械化を進めれば解決します。ただそれには投資がかかります。IT化でのシステム作りも含めて、そうしたところを行政にサポートしていただきたい。

**前田** 人がサービスをすれば配膳のようにロボットでできることはロボットに任せれば、生産性向上がお客様にサービスする時間が増えます。収益性を上げるために様々な方法や手法が考えられるし、売り上げのためのマネジメントAIなど駆使しながら観光DXに取り組んでいます。

**江口** 前田さん、北部に今年開業するジャングリアが何かと注目を集めています。現地でどのような様に受け止めていますか。



北部全体の成長で  
地域経済の底上げに



前田 新しい施設が出来る事で北部への滞在が増え、周遊によって消費がもたらされる事で経済が活性化するという期待感があります。もちろん、渋滞や従業員を奪われるのではないかと不安も地元にはあります。交通については自治体や県、沖縄総合事務局が意見交換を何度も行い、周辺の交通や駐車場の確保など関係各所での協議をされていると聞いています。名護東道路の早期延伸実現や県道八四号線の整備も市から国、県へ求めていますので地元民としても強く求めていきたい。

人財については、奪われる心配よりも互いに協力して良い人材を北部に増やすことを考えていきたいです。ジャパンエン

座間味 南部でもコストコの開業で、未だに土日は渋滞し、ゴルフ場の営業にも影響があると聞きましたし、会員のパン屋さんでは、実際に売り上げが落ちてると言っていました。

前田 地元を使ってくれるという話もありですが、ロイヤリティビジネスの大型施設が出来るわけですから、沖縄にとっても学びと捉えやすい。観光業は本土や外資系のホテル企業が進出などずっと経

柴田 企業づくりの中で最も大切な、人材育成が大事です。人材育成に取り組む生産性を向上していく。そのための助成金もありますから、活用していただきたいと思っています。繰り返しになりますが、人材確保のために働き方改革、多様な働き方ができるような制度、例えば育児や介護と仕事が両立できるような環境づくりなどが必要になります。特に大事なものは賃金をしっかりと上げていくこと。そのためには適正な収益を得て、適正な賃金が支払われることによつて、しっかりとモチベ

要は人材育成  
好循環で強い企業を

シヨンを上げて、生産性を向上させる好循環に繋がっていく、そういった流れが必要です。

江口 最後に、今後同友会が地域に果たす役割、あるいは期待を込めて、それぞれの立場からお願います。

柴田 事業所の九九・九%が中小企業で、就業の九割が中小企業だという現状を見ますと、中小企業家同友会の役割は非常に大きい。どのような働き方をして、どのぐらいの収入が得られるのか、また充実した生活や消費ができるのかといったことが重要かと思っています。

座間味 柴田局長がおっしゃったように、もう

江口 皆さま、本日はどうもありがとうございます。

座間味 そうですね。いざ黒船が来た、さてどうするか。同友会で勉強している人たちは、その辺も上手でマーケティングの違うビジネス展開をして乗り越えていくことがで

江口 確かに、だから経営者が同友会を求めている、気持ちの切り替えの時だと思っています。

前田 時代の変化とともに、お客様の趣向や求めるものは変化しています。これはホテル、観光業だけでなく、経営者はそれを感じていてと思います。さらには本場に世界の情報がネットですぐに入る時代です。経営する側も広く情報を集め、自社の経営の足元を踏みしめながら先を見ていくことが大事です。個人的に商売は信頼があつてこそだと思っています。現在の自社の事業を、人物・金・情報を駆使して、お客様の信頼を裏切らない商売で、周りの変化や先々を予想して新しいことも取り入れていく。永遠にその繰り返しで企業は成長していくと思います。柴田局長がおっしゃった、働き方で生産性を上げるサイクルを確立していくかという限りは、企業は続かないので、そこは私たち経営者がどういう風に学び、自分を成長させていくかですね。

座間味 座間味 座間味 座間味



座間味代表理事



**アンカー商事**  
代表取締役 **與崎 文美**  
Ayami Yozaki  
TEL.098-892-2320  
FAX.098-892-5669  
携帯:090-8418-3871

**ソムノクエスト株式会社**  
代表取締役 薬学博士 **江口 直美**  
日本睡眠学会評議員 薬剤師  
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-16-3-1F  
TEL 098-988-1141 FAX 098-988-1142  
E-mail:naomi@somnoquest.com  
MP:090-3706-0862

**大宮工機**  
代表取締役 **宮城 光秀**  
本社:〒901-0417 沖縄県島尻郡八重瀬町字外間 99番地 1  
TEL (098) 851-9203 FAX (098) 851-9204  
機材:〒901-1115 沖縄県島尻郡南風原町字山川 285番地 1  
TEL (098) 889-6166 FAX (098) 888-3424  
E-mail:m-miyagi@ohmiyakouki.com

**文進印刷株式会社**  
〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次 706-4  
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

**たけ事務**  
代表取締役社長 **竹 富 久**  
本社 〒901-1116 沖縄県南風原町字照屋 285番地  
TEL: 098-889-1311 FAX: 098-888-3142  
携帯: 090-1942-5891 E-mail:takejim@coral.okinawa  
那覇営業所 〒902-0074 東風平店 〒901-0401  
沖縄県那覇市仲井真 356-5 Casa 301 沖縄県八重瀬町字東風平 398番地  
TEL/FAX: 098-960-3418 TEL/FAX: 098-998-9835

**島一番の調味料屋**  
株式会社 **赤マルソウ**  
代表取締役社長 **座間味 亮**  
〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町 4-10-2  
TEL (098) 992-0011 FAX (098) 992-0033  
http://www.akamarusou.co.jp

# 第34回 経営研究フォーラム

## 人を生かす経営の総合実践 ～成長し続ける組織づくりのヒントをつかもう！～

沖縄同友会の年間で一番大事にしている第三十四回経営研究フォーラムが、十一月一日に沖縄産業支援センターで開催され、二百五十一名が参加しました。  
三部編成で開催され、基調講演の後には六つの分科会に分かれて学びを深め、懇親会では大いに交流を深めました。

### 基調講演

#### なにが儲かるかでなく、なにが楽しいかで決める！



中島 賢太氏

「この人生でやりたいことを全部やる！」

しながら創業をする道へ。中島製作所を定年退職した人がゆるく働くことのできる会社や、車椅子からベッドへの移譲補助具を作製したことがきっかけで立ち上げた訪問介護事業所など、自身が必要だと感じた新規事業を積極的に立ち上げてい

### 第1分科会

#### 社員の幸せを考えてますか？ ～1人親方から組織的な経営へ～



伊波 亜矢子氏



森山 賢氏

第一分科会では、「社員の幸せを考えてますか？～1人親方から組織的な経営へ～」をテーマに、問題提起を(株)琉球補聴器 森山賢氏、報告を(有)フイーチャー企画 伊波亜矢子氏が行った。三十八名が参加しました。

森山氏からは、経営指針を土台とした経営・採用の大切さの問題提起が行われました。「短期で考えるのではなく、長期で考える」、「若者から、学校から、社会から選ばれるあなたの会社にならないといけない」などの提起が行われました。

伊波氏からは、これまでの人生と経営の変革について報告頂きました。波乱万丈な人生を過ごす中で、現会長（喜納氏）との出会いがあり、現社を立上げます。

立上げ当初、がむしゃらに働くも、気づけば社員が誰もついてきていない状態に。その後、調査・

### 第2分科会

#### DX化は望ましい未来の自画像を具体的に想像することから



宮城 光秀氏



高橋 庸生氏

監査・労基が入る、多額の法人税など、波乱万丈な展開は続きます。

その後、様々な出会いがあり、得た気づきを地道に実践していきます。

特に、経営指針作成講座を受けたことで、これまでの二十年間を棚卸でき、社員との共有も行える様

第二分科会では「根本原因を解き明かす！デジタル化（DX）を見据えた企業課題」をテーマに(有)大宮工機の宮城光秀社長と、同社のDX化をサポートしたIT通信(株)の高橋庸正社長から報告があり、三十名が参加しました。

DX化のスタートは、徹底的な課題の洗い出しから。課題の本質が何であるかを「なぜなぜ分析」を用いて突き止めることで、根本原因に基づいた対策をとることが可能に。

「DX化の目的は、競

になり、今では右腕と呼べる存在もいるとのこと。

グループ発表では、全員が同じ方向を向くことの大事さ、想いを共有すると自主性に繋がるなどの意見が出ていました。

座長のまとめでは、時間管理のマトリクスに触れ、経営指針の成文化は、「緊急度は低いけど、とても重要」とし、改めて重要さに触れていました。

（三重金属工業(株)沖縄事務所・上地裕介）

### 第4分科会

#### 消えゆくもずく産業!! 沖縄うるま船団丸の挑戦



東 卓弥氏



坪内 知桂氏

第四分科会の報告者は(株)GHI BLI代表 坪内知佳氏と沖縄うるま船団丸団長の東卓弥氏で、「消えゆくもずく産業!! 沖縄うるま船団丸の

### 第3分科会

#### 中間管理職が考えるよい会社とは ～部下と社長の板挟みの中で～



又吉 理美氏

利益率を押し上げる原動力にもなったのです。

ディスカッションでは「DX化は突き詰めると経営理念に行き着く」と

第三分科会では、(有)スタプランニング部長 又吉理美氏による「中間管理職が考えるよい会社とは？」部下と社長の板挟みの中で」をテーマに開催し、三十六名が参加しました。

又吉氏は同友会の合同企業説明会で新卒採用され、(有)スタプランニングに入社されます。入社当時

「もずく」というと、私にとっでこのスーパにもある体に良い食材というイメージ。九州にいる時にもよく食べていたので、なじみのある海草です。

今回の報告で、強く印象に残ったのは、朝から夜まで一生懸命働いて、もずく生産では食べていけないという大きなジレンマでした。うるま船団丸の東さんは、前職

の意見が出され、DX化の奥深さを皆が感じた時間となりました。(株)ハルモニアグランデ・小橋川)

は、毎日残業は当たり前、休みもほとんどなく、いわゆるブラック企業でした。毎年社員が入れ替わる状況を目の当たりにし「ずっと働き続ける会社になりたい」と社長に直談判します。社長は又吉氏の訴えに心動かされ、会社は働き方改革へと動き始めます。

最初は意気揚々と改革に取り組みますが、次第に自分一人で改革は難しいと壁にぶち当たります。葛藤し悩みに悩んでいく中で、自分が会社の皆に支えられていること

が自衛隊で三・一一の時には百人以上のご遺体を海の中から陸に上げたそうです。その為に精神的に病んでしまい沖縄に配属となり、ご縁があり、もずく生産のお手伝いから今の「沖縄うるま船団丸」の団長として動いています。

大きなジレンマである「どんなに働いても食べていけない」をどうにかするために、(株)GHI BLIの坪内代表と連絡を取ったことから始まり、本当の価値の部分に、付加価値を加えるということを学び実践しました。漁をしながら、元気に販売まで手掛ける

に気づきます。皆さんの力を借りながら巻き込みながら動きはじめる、「よい会社」へ一歩一歩着実に向かいはじめたよう

又吉氏はご自身が中間管理職になり、経営者と社員さんの立場には大きな溝があることに気づき、中間管理職だからこそできること、中間管理職でないといけない事を誠実に取り組まれたからこそ、「よい会社」へと改革が実現できたのではないかと感じる報告でした。

グループ討論もすぐく活発に行われより学びを深めることができました。私もまたリーダーや社員さんたちと「よい会社」づくりに励んで行きたいと勇気づけられる分科会でした。(株)エマオ・安次富淳子)

男性陣が働き始めたというところ的魅力を感じました。しかも生き生きとして元気でした。

私はテレビをほとんど見ないので知りませんでした。が、「ファーストペンギン」というドラマのモデルにもなつたらしい。この坪内代表の真剣さと無駄の排除には頭が下がります。そして沖縄うるま船団丸の東団長も、自衛隊からの、もずく漁という異例の生きざまに魅力を感じました。

今後、沖縄の大きな事例になっていくのだろうと期待が強まる分科会でした。

(子育て良品・船谷香)

第5分科会  
持続的成長と社会貢献を  
両立する経営を目指す



幸喜 穂乃氏

第五分科会は、「SDGs（持続可能な開発目標）経営とは」のテーマで（同）Happy Joy代表社員の幸喜穂乃氏に報告いただき十九名が参加しました。

幸喜氏は、「企業はそもそも社会の課題解決のためにあるので、SDGsのゴールと密接に繋がっている。そのつながりを言語化し、発信すること、単なるCSR活動ではない、本業でSDGsを達成できます」と強調しました。ワークを多く取り入れた報告は、SDGsと本業のつながりから、参加者

が貢献できていると思える発見があったようです。

皆様もこの機会に社員と共にSDGsについて考えてみてください。良い事をしていくはずが、その行動が別の視点では悪になっている場合がある（トリードオフ）という事も考え、どちらも成り立たせる工夫（トリードオン）を意識してみてください。

SDGs経営に取り組むことで、良い社風社員や家族・お客様・その環境などのサイクルに変化が起こり経営改善人材育成と定着につながります。そして良いサビスを率先して考える社員から、新たな人材や、分野の広がりなども生まれてくることが期待できます。

第6分科会  
マチグワの未来を  
デザインしよう



パネルディスカッションの3氏

未来を起点として、何をすべきか逆算思考で考え、SDGs経営をすることで豊かな社会を

創る企業が増える事を願っています。（株）リウデン・謝敷千恵子

の繁華街である国際通りや牧志第一公設市場周辺の視察を行い、マチグワの現状を踏まえた地域振興のあり方や将来像を模索しました。

視察においては、星崎氏（県政策委員長）と慶田城氏（なはまち振興課、栗国智光氏（牧志第一公設市場組合長）の案内で、平和通り周辺のまちまーいを行ったあと、牧志第一公設市場を訪れ、地元の商品活動や観光業の現状について理解を深めました。

視察後に行われたパネルディスカッションでは、那覇市中心市街地の振興策についての政策提言をもとに、現状の課題

と未来に向けたビジョンが共有されました。コーディネーターの清水氏（尚学院公務員法律大学校）が進行役となり、栗国氏（牧志第一公設市場組合長）、玉村氏（那覇市観光協会事務局次長）がパネリストとして参加。議論は、都市型MICE（会議・展示・イベント）やインバウンド観光、デジタルサイネージの導入といった内容を中心に展開され、マチグワの未来をどうすべきか、地域活性化に向けて中小企業の役割や協働の重要性が強調されました。

本分科会では、地域振興に向けたさまざまな視点からのアプローチが議論され、今後の「マチグワ」の未来を築くための有益な情報とアイデアが得られる場となりました。（のれんずプロ 新井崇史）

第六分科会では、「マチグワの未来をデザインしよう」のテーマに二十八名が参加しました。

今年五月に那覇市に提出した政策提言のうち、「地域活性化」に焦点を当て、那覇市中心市街地

先としてトイレトペーパーなど日用品から様々な商品を取り扱っています。

初プレゼン体験と言いつながら、事業承継の話にも及び、先代が突然「大学生になる」と宣言したため、三十九歳の時に社長に就任。その後、自身の判断の甘さから資金繰りの苦しさを味わったことや自社の状況など、ミニ例会さながらの内容となりました。

ミニ例会では、琉球ワールドの代表者、具志堅保男氏が報告者となり、



具志堅 保男氏



大城 康嗣氏

浦西支部  
企業プレゼン&ミニ例会

十一月十五日、浦添市ハーモニーセンターにて、毎月開催予定の「ミ

二例会」を開催し、二十名が参加しました。

体系化したミニ例会は、どの会員でも自分の経営体験を、参加者を含めて共有できる場として学べる内容です。

企業プレゼンは、(有)協栄商事の大城康嗣社長、各種商品卸売業として「クリーンな環境づくりのベストパートナーに」をキャッチフレーズに病院や学校、企業を取り

先としてトイレトペーパーなど日用品から様々な商品を取り扱っています。

初プレゼン体験と言いつながら、事業承継の話にも及び、先代が突然「大学生になる」と宣言したため、三十九歳の時に社長に就任。その後、自身の判断の甘さから資金繰りの苦しさを味わったことや自社の状況など、ミニ例会さながらの内容となりました。

ミニ例会では、琉球ワールドの代表者、具志堅保男氏が報告者となり、

グループ発表風景



グループ発表風景

碧の会  
企業変革支援プログラム学習会

十一月二十日、碧の会は企業変革支援プログラム学習会を開催し、十一名が参加、『企業変革の一步目は自己改革から』と題し、(有)大宮工機 社長で宮城光秀代表理事より講話していただきました。

大宮工機は建設機械のレンタル業。今年で四十五年目の老舗企業です。二十七年間、大手電機メーカーを退職し両親

が経営する同社へ入社します。

入社当初は、休日は日曜日のみ、社内会議なし、パソコンなし、FOXやコピー機は、洗濯機のようにガタガタと大きな音を出すような古いものであったそうです。

最初に着手したのは社員待遇の改善でした。就業規則の改定、年間休日や就業時刻を早めるなど両親を説得しながら段階的に改革しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。



講師の宮城氏を中心に

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。



講師の宮城氏を中心に

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

から、本格的に取り組みました。六つの項目の一つに丁寧に向き合い、自社の足元を確認し、ゴールに向けてどう動くのか？行動を決めて着手すると計画的な動きが取れるようになり、今年度の売上目標を大幅に上回る予定との事です。

社員の待遇面も年間休日八十七日から計画的に改善し、次年度は百二十日とする予定。しかも、有給取得率はほぼ百%と理想的な会社へと変化しました。

また、同友会での学びを生かし、障がい者雇用も定着しています。人材育成にも力を入れ、チームワークとコミュニケーションを大切に、お互いを助け合う社風を築き上げました。

企業変革支援プログラムは二年前

八重山支部 例会  
経営者としての覚悟と葛藤、そして展望



竹 富久氏

十一月八日、大濱信泉記念館にて「小さな一流企業をめざして」経営者としての覚悟と葛藤、そして展望」をテーマにして、(有)たけ事務所の社長で南部支部長の竹富久氏に報告いただき、ゲスト二名を含む十名が参加しました。

南部支部の顔、そして代名詞と言えよこの方、竹支部長の右に出る人はいないのでは？ 同友会のあらゆる場所に参加し、気さくに話しかけてくれる人柄と親しみ感から「よく知っている」と思ってしまうがちなのですが、その日の八重山支部での例会は「竹支部長の知らない部分」の連続でした。

会い、社員一人一人の声や、先代である父、身近な存在の兄弟の声に耳を傾けるようになっていきます。「たけ事務所で働く



真柴田 士郎氏

宮古支部 社長・社員共育塾  
年間テーマ。人が輝く組織づくり

十一月六日、みらい創造センターにて、宮古支部では五年振りとなる社長・社員共育塾が開講されました。共育塾の年間テーマは「人が輝く組織づくり」で、この日はオリエンテーション・第1講として、マエダ電気工

事(株)社長の真柴田士郎氏が、「理念の浸透と大切さ」実践の中で個人の成長と気づきを」をテーマに講演し、十五名が参加しました。

真柴田氏は経営理念を浸透させることで、社長・社員の想いをしっかりと形式知に変え、その意味や価値・知識を組織全体で共有する内容でした。細かな取り組みが数字に表れ、豊かな職場環境があるからこそその発表でした。

と幸せになれる」、会社を通して働きたい、生きがいを感じる環境を作り続けて行きたい、そう話す竹支部長だからこそ、冒頭の親しみ感が自然とにじみ出るようになるのでしょう。(有)PLAN t PLAN・宮良高彰)

共育塾を機に各社が会社に戻り、社長自身と社員の発言や行動がどのように変化していくのか今後にも注目です。

受講生の感想には、マエダ電気のような会社を創りたいとの声もあがり、目指したい会社像を「魅せて」頂くきっかけにもなったと思います。私自身も出来るところから一つずつ実践していきたいです。(同)楽技建・宮國さやか)

第23期 社長・社員共育塾第四講  
『五方よし』の経営を実践



二宮 生憲氏

第二十三期社長・社員共育塾第四講が十一月十九日に沖縄産業支援センターで開講され、受講生七十五名を含む九十六名が参加しました。

今回の講師は二宮生憲氏(株)さくら住宅相談役)。二宮氏は、半世紀近くにわたり住宅リフォ

第八講  
文化を基調とした地域おこし

～老いも若きも未来の宝～  
講師：南島詩人  
平田 大一氏



平田 大一氏

十一月九日、沖縄産業支援センターでの第八講。平田氏は、小浜島で結成した長寿アイドル「おばあちゃん合唱団」KBG84が、豊かに美しく老いる理想の姿として、いまや県内各地に広がっていることを紹介し「老いも若きも未来の宝」と強調しました。

第九講  
懸命に生きる人々

～いま私達が学ぶべきこと～  
講師：一般社団法人アジア支援機構  
代表理事  
池間 哲郎氏



池間 哲郎氏

十一月九日、池間氏の報告は、単身の支援活動を基盤に三十五年間に十カ国へと広がり、東南アジアの貧困にまつわる深刻な社会問題に取り組んできた全体像が分かる内容でした。「死ぬ命はみな、生きる命をみる」。信念と使命感で継続してきた活動には敬意を抱きました。同時に、「真剣に生きる」ことが出来ている

第十講  
うちなうめ肝心

琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶ  
講師：ていーだ観光(株)  
取締役・フーバーガイド  
崎原 真弓氏



崎原 真弓氏

特別見学講義の第十講は、十一月二十三日、摩文仁の丘にある平和の礎を見学した後、平和記念資料館にて、講義が行われました。崎原氏は、先人達が大切に語り継いできた真心、「肝心(ちむぐる)」を、唄三線などの実演を交えた独自の演出で伝えました。

新会員 オリエンテーション in 浦西

十一月十三日、浦添市社会福祉センターにて、新会員オリエンテーションが開催され、新会員二名を含む十一名が参加しました。

① 那覇支部  
TSUBOYABASE(株)

代表取締役 宮城 達氏

② 浦西支部  
イクウェルチャイルドアカデミー 宜野湾 教室長 神村 優華氏



心とこころをITでつなぐ  
**Gracias OKINAWA**  
株式会社 グラシアス沖縄  
ITコンサルタント  
代表取締役 田上カルロス  
c.tagami@gracias-ok.com  
おきなわ 学童クラブ情報  
https://genkinako.net  
〒901-2102 沖縄県浦添市前田1丁目54-13 5F・5E・A号室  
Tel:098-943-6939 Fax:098-943-6959  
https://gracias.okinawa

Where Ideas  
Come to Life  
(有)アンテナ  
https://www.antenna-okinawa.co.jp/

代表取締役  
**赤嶺 宏**  
Hiroshi Akamine  
株式会社システック沖縄  
Systec Okinawa (SOKI)  
〒900-0012 沖縄県那覇市泊3-15-5  
Tel:098-941-5900 Fax:098-867-0056  
https://s-okinawa.co.jp

「伝えたい」を叶えたい...  
**株式会社 リウデン**  
https://www.riuden.co.jp/  
取締役 総務部長 謝敷 千恵子  
Chieko Jashiki  
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目19番1号  
TEL:(098)875-2346 FAX:(098)875-2364  
E-mail:chieko@riuden.co.jp

社会貢献 3.0  
おかげさまで 15 周年  
株式会社 アイセック・ジャパン  
代表取締役 社長 一瀬 宗也  
Muneya Ichise  
904-2203 iPhone: 090-8486-8344  
沖縄県うるま市字川崎468番地 TEL:098-972-6888/FAX:098-987-5627  
いちゅい奥志川じんぶん館 1F E-Mail:m.ichise@iscecj.co.jp  
http://www.iscej.co.jp/

よい歌・よい友・よいお店  
**カラオケ同友会** 〒900-0034 那覇市東町 4-14 イーストタウンビル 4F  
店長 島 尻 ヒロミ 090-6864-0359  
〈営業案内〉 時間：17:00～23:00 (日・祭日は休)  
料金：お一人 3,000円 (飲・歌放題)  
貸切：60分 1,500円 (12:00～17:00) 会議室料  
60分 10,000円 (17:00～23:00) 飲・歌放題  
※食事持ち込み自由